

昨年の漢字は「変」

大阪医療センター
 是恒 之宏

昨年の漢字は「変」と決まったらしい。一昨年の「偽」よりはいいが、世の中では色々な変があった。オバマの言う“change”は、当然いい方向へ変わることをめざして、“Yes, we can.”なのであるが、昨今のニュースではいい話題は本当に限られている。

石油の未曾有の高騰と下落、一時ガソリン価格はレギュラーで180円台まで上昇したが、先日スタンドで入れたときは102円であった。我々一般市民にとってはガソリン価格の値下がりありがたいことであるが、実は高騰する前とはあまり変わらず、車離れが続いている。アメリカでの自動車産業が大変な事態を向かえ、昨日やっとプッシュが公的資金の投入を決定したが、時すでに遅しの感あり、同じ自動車産業でも海外から参入している企業には補助はない。いち早くハイブリッドカーを手がけたトヨタでさえ、大幅な計画縮小を余儀なくされている。

もう1つは急激な円高である。それも身の丈に合わない円高。世界中が火をふいて、日本だけが小火ですんだ、ということで相対的に円買がすすんでいる。また、アメリカのゼロ金利政策によりさらにこの傾向に拍車がかかる

ただ、車離れも円高も悪いことばかりではない。車にかわって自転車がブームになっている。メタボリック症候群の解消にも役立つ。円高は輸出企業にとっては大きな打撃であるが、輸入業者は利を得ているはずである。いずれもいい話はニュースになら

ない。

さて先日、臨床薬理学会で山中伸弥先生の講演を聴く機会を得た。今、話題の「人工多能性幹細胞」の開発に関する講演であったが、予想通り会場は満席であった。当院臨床研究センターでも金村米博先生らが慶応大学の岡野教授と神経幹細胞の開発研究をおこなっており、私自身の循環器の領域でも大阪大学の澤教授らが心筋シートによる心不全治療を臨床応用するに至り、再生医療も遠い存在ではなくなったが、特に「人工多能性幹細胞」の開発は世界的にも注目されている研究であることから以前より山中先生のお話を拝聴することを楽しみにしていた。今回の講演内容は私の予想とは少し異なり、特になぜこの道に進むことになったのか、またこれまでの開発に至った経緯について詳しく解説され、会場にいた医師、看護師、薬剤師の多くが感銘を受けたに違いない。山中先生の人生における節々のchangeのお話は我々に大きな力を与えていただいた。

なかでも、山中先生が留学先のボスに言われたという座右の銘“vision and hard work”は、強く印象に残った。日本人はhard workは得意であるがややもするとvisionを忘れがちである。今年では是非これまであたためてきたvisionあるいは新たなvisionを持って大きくchangeする年にしたいものである。